



## 戦争体験朗読劇「あの夏の日の記憶 ヒロシマ ナガサキ そして」

8月5日、明野公民館大ホール「イル・ブリランテ」で、NPO法人ヒューマンライツネットはらんきょうの会（加藤由美子代表）による、戦争体験記の朗読劇が開催されました。小学5年生から60代までの市民10人が舞台に立ち、気持ちのこもった朗読に、会場では涙が見られました。

加藤代表は、「今日の平和な日常を守り、次の世代に引き継いでいくことの大切さを、改めて考える機会となればうれしい」と語りました。



## 世界にひとつだけの食器を作ろう！ 子ども陶芸教室開催

7月21日と8月4日、協和ふれあいセンター（久地楽）で、「子ども陶芸教室」が開催されました。参加した親子9人は、講師の武藤州輝さんらの指導を受け、手ひねりやろくろで、お皿やマグカップ、ランプシェードなど個性あふれる作品を作りました。

子どもたちは、「粘土が固くて、こねるのが大変だけどすごく楽しい」と作品作りを楽しんでいました。

作品は乾燥、素焼き後に釉薬を塗り、本焼きを経て、8月下旬に完成予定です。



## 猛暑を乗り切るための 熱中症対策講座

7月19日、下館西中学校で筑波大学医学生グループ「CoMedつくば」（吉武沙和佳代表）による熱中症対策講座が開かれました。

運動部に所属する生徒約120人が参加し、熱中症の予防法や熱中症になってしまった場合の対処法について学んだほか、手当てに用いられる経口補水液の作成、試飲などを楽しみながら学びました。



## 交通事故撲滅に向けて メッセージ伝達式

7月20日、茨城県交通安全キャラバン隊が筑西市を訪れました。

下館総合体育館で行われたメッセージ伝達式には多くの関係者が出席し、キャラバン隊の「茨城県交通安全母の会連合会」（神戸礼子会長）から須藤茂市長に、交通安全意識の高揚と交通事故未然防止のため、大井川和彦県知事のメッセージが手渡されました。



## 元気に花咲け！ ひまわり畑除草作業

8月4日、あけのひまわりフェスティバルの会場となるひまわり畑（倉持）の除草作業が行われました。

明野ひまわりの里実行委員会（松本幸夫会長）や明野地区の各自治会の協力のもと、約350人の参加者が、早朝から強い日差しのなか、草取りに汗を流しました。

ひまわりフェスティバルは8月25日（土）から開催されます。